

「財政危機」
を名目に

夏休みに楽しみ

子どもたちの

プール無料券

を廃止するなんて

日本共産党 は、復活のためにがんばります

逗子市は、第一運動公園と小坪飯島公園のプールについて、子どもたち（中学生まで）と障害者・高齢者に対し、無料券を発行してきました。しかし、「財政対策プログラム」で廃止を打ち出し、1回100円を子どもたちに負担させれば、毎年200万円の収入が得られるとしています。



こうして子どもたちから料金をとる一方で、利用者の3割を占める市外の利用者負担には検討がされていませんでした。日本共産党は、市外大人料金を200円から500円にして、その分を活用して、子どもたちの無料券を存続しようと提案しました。

先日開かれた市議会では、日本共産党は他党派と協力して、市外大人料金改定の条例提案をおこない、自民党議員が反対しましたが、賛成多数で可決しました。

これにより、無料券復活に道を開きました。ひきつづき、復活できるように奮闘します。

福祉・介護、教育、子育て……

「財政危機」を理由になんでも削減で良いのでしょうか？

「財政危機」を理由に、なんでも削減する市政で良いのでしょうか？日本共産党は、6年前から池子の森整備事業など、大型事業をはじめ税金の使い方を改めるよう指摘してきました。こうした指摘に耳を貸さず、市政を進めてきた自民・公明など与党会派の責任は重大です。

日本共産党は、病院用地の土地代の負担を求めることや、みどり基金や市有地の有効活用などで財源を生み出し、市民目線で財政再建しつつ、市民の暮らしを守る提案をおこないます。



2018年3月号外
発行 日本共産党逗子市委員会
沼間2-15-4 046-871-1321

留守の時は、874-4616か、
845-9097までご連絡ください。